

年間指導計画表

教科・科目	芸術科・素描Ⅱ	単位数	2
		学科・学年・学級	普通科(創造表現コース) 2年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い創造活動を通して創ることのよろこびを知り、意欲的に制作する態度を養う。 鑑賞する能力を身につけ、美術文化についての理解を深める。 感性を高めて美しさを探求する態度を養い、美術を愛好する心情を育てる。
使用教科書・副教材等	・新 美術 表現と鑑賞

2 評価の観点等

観点	趣旨	評価方法	配分
a. 関心・意欲・態度	美に対する感動や、自己の考えを主体的に表現することができる。	授業態度、制作に対する意欲や姿勢	10%
b. 発想や構想の能力	多様な表現形式の特性を生かし、創造的な表現を追求することができる。	制作作品など	50%
c. 創造的な表現の技能	意図に応じて材料、用具を活かして表現することができる。	制作作品など	30%
d. 鑑賞の能力	美術の働きや美術作品の美しさ、特質等について自己の意見を持ち、互いに批評しあうなどすることができる。	鑑賞態度など	10%

3 学習計画

学期	月	時数	学習内容	学習のねらい	評価の観点			
					a	b	c	d
前期	4	10	静物デッサン (鉛筆)	静物素描について ・静物素描を描く際の構図について学ぶ ・形態の捉え方や、空間表現を学ぶ ・鉛筆描写の技法について学ぶ	○		○	○
	5	10	手のデッサン (木炭)	木炭素描の基礎学習 ・木炭の描画材としての特性を学ぶ ・手の骨格や立体表現を研究	○	○		○
	6~9	16	卓上デッサン	卓上モチーフの構成・描写について ・モチーフ構成の方法について学ぶ ・質感や素材感および立体的な表現の研究	○		○	○
後期	10~11	14	石膏デッサン	木炭および鉛筆による石膏素描について ・石膏像の形のとりかたについて学ぶ ・光源の意識/陰影のつけかたについて学ぶ ・像の量感・前後感の表現について学ぶ ・石膏の質感を意識し、細部の描きこみかたを学ぶ	○	○		○